

補助対象例について①

Wi-Fi機器
(置くだけWi-Fi、ポケットWi-Fi)



メリット

- ご自身で契約した通信量を使わずにインターネットに接続できる。
- 災害時等、電話回線がつながりにくい場合に、通信手段の一つとして、インターネット上で災害情報を調べることができる。
- スマートフォンのみではなく、PCやプリンタ等の接続が可能になる。

デメリット

- 毎月のランニングコストや初期費用等は、市民防災組織の負担になる。
- Wi-Fi環境を整備したからといって、必ずしも災害時に使えるとは限らない。
- 防災拠点の立地によっては、つながりにくい状態や動きが遅くなる可能性がある。

【お問い合わせ先】
立川市市民生活部防災課 042-523-2111 (内線2531)

補助対象例について②

補助対象

- 市民防災組織の活動拠点において使用する可搬式の非常用発電機。
- 非常用発電機は、通信確保を用途とするもの。
- 燃料（ガソリンやガスボンベ）、消耗品（乾電池単品や交換用のプラグ）、保管庫の整備代は補助対象外です。

補助対象になるかについては、市が事前相談時に判断します。立川市役所防災課（55番窓口）までお越しください。

補助対象例

発電機（可搬式）

再生エネルギー式



ガソリン式



カセットボンベ式



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物の保管の心配がない ○燃料確保の制約がない
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○出力が比較的小さい ○夜間・雨天では発電ができない

メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○大出力
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物であるガソリンを保管する必要 ○安全な保管場所の確保及び管理者が必要

メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○大出力 ○ガソリンに比べ、カセットボンベは保管しやすい
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○カセットボンベの保管場所の確保が必要